

銚子スポーツタウンコラム(2)

還暦野球チーム立ち上げ

「60歳からのプレーボール」

銚子スポーツタウンが2018年に設立されたのと、ほぼ同じ時期に、還暦野球チームも立ち上がりました。

これも小倉スポーツタウン社長の発案で、「少年少女だけでなく、高齢者にも野球を通じてスポーツを楽しんでもらいたい」という思いから始まったものです。

第一次募集で集まった応募者は、60歳前後の6名。
しかも全員が野球未経験者でした。

「少年時代、本当は野球をやりたいかった——」

そんな思いを胸に秘めながら、さまざまな理由で野球ができなかった方々ばかりでした。

初歩の初歩からスタート

そこで最初に始めたのは、

- ボールの握り方
- バットの持ち方
- グローブの使い方
- ユニホームの着方

まさに“初歩の初歩”からでした。

内心、「これはえらいことになったぞ」と思いました。

長年コーチを務めてきましたが、ここまでゼロから教える経験は初めてだったからです。

しかし、皆さんは毎週日曜日の練習を欠かさず、目を輝かせながら熱心に取り組んでくれました。

その姿を見るうちに、私自身も次第に情熱が入り、指導にも力が入っていったのです。

「習うより慣れろ」

野球の基本はキャッチボールです。

10メートル、20メートルと距離を伸ばしながら、最初はまともに投げられなかったボールが、徐々に相手へ届くようになっていきました。

ゴロ捕球も、下から緩いボールを投げては繰り返し練習。

まさに「習うより慣れろ」です。

日を追うごとに上達し、自分自身で成長を実感できるようになると、やる気はさらに高まります。そして次第に、野球の楽しさが分かるようになっていったのです。

最大の壁は「ルール」

しかし、もう一つ大きな問題がありました。

それは——野球のルールを覚えることです。

野球は他のスポーツと比べてもルールが複雑で、覚えるには相当な時間がかかります。

そこで近隣の還暦野球チームにお願いし、試合を重ねながら少しずつルールを学んでいきました。

何事も、指導には「我慢」「根気」「情熱」が必要です。

私は皆さんに、

「皆さんの“伸びしろ”は無限ですよ！」

と、おだてながら、褒めながら(笑)、指導を続けました。

成長していく姿を見るのは、まさに指導者冥利に尽きるものでした。

そして「黒潮野球リーグ」へ

80歳を過ぎ、体調を崩して退部された1名を除き、現在も5名の皆さんが、はつらつとプレーを続けています。

その噂を聞き、次第に部員も増えていきました。

試合ができるまでになると、小倉社長は近隣の還暦野球チームに声を掛け、「黒潮野球リーグ」を立ち上げました。

ところが——

まだチーム名がありません。

チーム名を決めるだけでも、ひと騒動でした。

我がチームの3つのポリシー

① 野球を楽しむこと

② 仲間づくり

③ 健康づくり

さて、どんなチーム名になったのでしょうか。

次回をお楽しみに。

2019年3月3日 初めての練習6人



ボールの握り方を指導



捕球の姿勢のお手本



バットの構え方 割る